

世界基準の
プレス技術の進化が
ここに。



JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展 名古屋

- 主催 / 一般社団法人日本金属プレス工業協会
- 運営 / インターモールド振興会

2019年6月19日(水) → 22日(土) 10:00 → 17:00
※ただし最終日は16:00まで

ポートメッセなごや 〒455-0848
名古屋市港区金城ふ頭2-2

<http://intermold.jp>

併催展

JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION

INTERMOLD 名古屋

金型展名古屋

- 主催 / 一般社団法人日本金型工業会

世界基準のものづくり



EV M
FORMING
電気自重
モータコ

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展 名古屋

塑性加工のプロが集う専門見本市に是非ご参加ください。

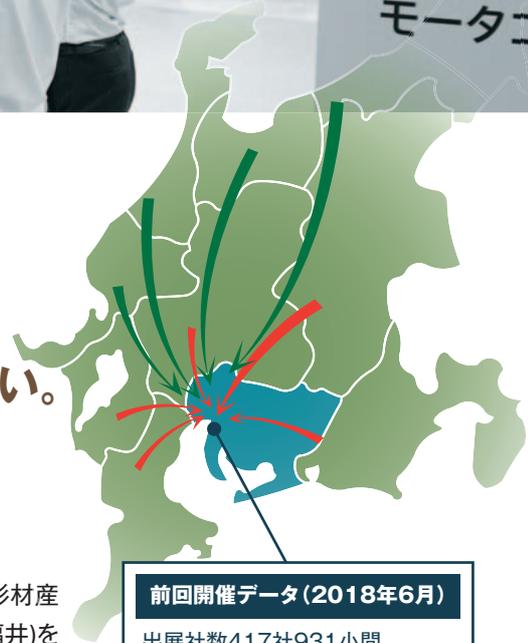
日本のものづくりの中心地

『自動車産業の集積地』での開催

完成車・自動車部品メーカーをはじめとする大手メーカーからティア1~3の中小企業など、素形材産業の集積地でもある東海三県(愛知・岐阜・三重)に周辺地域(静岡・長野・滋賀・新潟・富山・石川・福井)を加えた中部ものづくり関係者に向けて、最先端の素形材産業の情報を発信します。

日本の製造業を支えるサポートインダストリー

高品質な自動車部品づくりに貢献する「ものづくり基盤技術」
国際競争力強化の最先端ソリューションを提案。



前回開催データ(2018年6月)

出展社数417社931小間
来場者数43,648名
来場者の約75%は中部地区から
約70%は自動車・自動車部品関係者

中部のものづくり業界関係者が集うビジネスショー

主な出展物

- プレス加工機
(サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、
ファインブランピング、深絞りプレス、粉末成形プレス、ホットスタンピング、
冷間・温間・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器
(トランスファーシステム、アンコイラー、レベラー、フィーダー、
安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・
成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR

主な来場者

- ◆ 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、
家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、
商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、
研究・教育、公社・官公庁
- ◆ 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、
部品加工メーカー、商社
- ◆ プレス金型・鍛造金型・鋳造金型・ダイカスト金型・ガラス金型
プラスチック金型・ゴム金型・ブロー金型・粉末冶金金型ほか
- ◆ 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造
生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、
総務・経理

日本の製造業を支えるサポートインダストリー [ものづくり基盤技術] として欠かすことのできない金型と金属プレスを中心に、最先端の素形材産業の情報を発信します。



金型・金属プレス企業の競争力強化ソリューションを提案

素形材産業《金型・金属プレス加工》の専門見本市での、具体的なソリューション提案により、目的意識の高い来場者との積極的な商談が期待できます。

中小企業への具体的な設備投資提案

- ハイテン材、アルミ合金材などの難加工技術の導入
- CFRP／樹脂部品との複合加工・一体成形
- 高機能部品・自動車航空機部品の軽量化
- ロボット技術による自動化
- 人材育成・事業継承・産学連携



中小企業・小規模事業者の高付加価値技術の強化

- 鍛圧機械、プレス加工機
- 周辺機器、自動化装置、安全装置
- メンテナンス・サービス
- 板鍛造、冷間鍛造技術、精密せん断加工、ファインブランキング
- 接合技術
- 多様な素材への対応、新素材の実用化
- 高強度材料、軽量・非鉄金属材料
- 自動車部品の軽量化・EV化への対応
- 衝突安全性向上を実現する部品加工
- 新加工技術による高機能化
- ハイテン材による薄肉化、軽量化



金型・金属プレス加工技術 素形材産業の専門見本市

+αの提案

金属プレス加工技術展を併催

高品質な金型製造と改善技術

- 設計・試作、加工、仕上げ、成形、メンテナンスなど一連の工程を集約させた展示
- 試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア
 - 精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア
 - 熱処理・表面処理フェア 洗浄・補修&メンテナンス

素形材関連団体の特別協力企画

- 鍛造加工技術フェア
- 自動車部品製造技術フェア
- 航空機部品製造技術フェア

次世代製造技術の提案

2018年 開催実績 (名古屋)

開催データ

開催概要

※下記概要データは同時開催3展を合計

| | |
|------|--|
| 名称 | 金属プレス加工技術展名古屋 |
| 併催 | INTERMOLD 名古屋 金型展名古屋 |
| 会期 | 2018年6月13日(水)~16日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで |
| 会場 | ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2) |
| 出展規模 | 417社・団体 931小間 |
| 来場者数 | 43,648人 |

出展状況

金型・金型材・金型部品等(337社)
工作機械(99社)
工作機械用付属機器など(45社)
切削工具(59社)
機械工具・研磨・砥石関連(50社)
金属加工関連機器(73社)
各種油剤・ケミカル製品など(26社)
プレス加工機(53社)

プレス加工機用周辺機器(31社)
プラスチック加工機械・関連機器(25社)
精密測定機器・光学測定機器(51社)
CAD/CAM/CAEシステムなど(58社)
試作・モデリング・3Dプリンター関連(34社)
精密部品加工技術(183社)
各種団体・研究機関など(11社)
ロボット・自動化(16社)
図書・文献・資料(5社)

併催企画

- ◆基調講演・特別講演・特別セミナー
- ◆試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア
- ◆自動車部品製造技術フェア
- ◆航空機部品製造技術フェア
- ◆鍛造加工技術フェア
- ◆熱処理・表面処理フェア
- ◆精密仕上げ加工&/リ取り・研磨加工技術フェア
- ◆formnext パビリオン

来場者数

■ 金属プレス加工技術展 5,791人 ■ 金型展 6,495人
■ インターモールド 28,080人 ■ VIP 3,282人

来場者の地域分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

| | | | | |
|-------|-------|--------|---------|-------|
| 北海道地区 | 北陸地区 | 中部地区 | 中国・四国地区 | 海外 |
| 0.01% | 2.72% | 76.88% | 1.70% | 0.91% |
| 0.17% | 2.60% | 72.50% | 1.85% | 0.80% |
| 0.16% | 2.18% | 72.93% | 2.03% | 3.20% |
| 東北地区 | 関東地区 | 近畿地区 | 九州・沖縄地区 | 不明 |
| 0.62% | 6.97% | 8.78% | 1.42% | 0.00% |
| 0.95% | 9.97% | 10.00% | 1.15% | 0.01% |
| 0.94% | 7.88% | 9.28% | 1.40% | 0.00% |

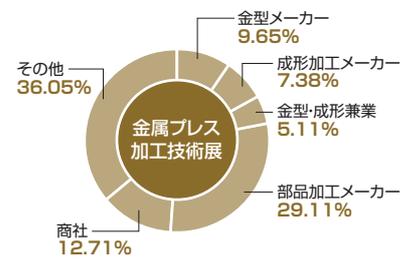
海外来場者の地域

合計486人(3展合計)

韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、スイス、タイ、チェコ、ドイツ、トルコ、ネパール、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ポルトガル、マレーシア、メキシコ

来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



会場レイアウト / ポートメッセなごや(2018年)



分野属性①

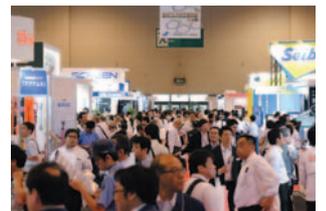
※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

| | |
|----------|-------|
| プレス金型 | 3,769 |
| 鍛造金型 | 1,052 |
| 鋳造金型 | 536 |
| ダイカスト金型 | 611 |
| ガラス金型 | 53 |
| プラスチック金型 | 999 |
| ゴム金型 | 256 |
| フロー金型 | 99 |
| 粉末冶金金型 | 210 |
| その他 | 1,466 |

分野属性②

※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

| | |
|-------------|-------|
| 自動車・自動車部品関連 | 4,124 |
| 半導体・電子機器関連 | 821 |
| 家電・通信機器関連 | 936 |
| 食品・医療・バイオ関連 | 237 |
| 商社関連 | 417 |
| 航空・宇宙関連 | 299 |
| 文具 | 89 |
| 玩具 | 43 |
| 建設・建材 | 496 |
| 研究・教育 | 108 |
| 公社・官公庁 | 166 |
| その他 | 706 |



出展者一覧

INTERMOLD 名古屋(2018)

- ア** 株式会社IHI Ionbond Japan
アイテック株式会社
ALPHA LASER JAPAN株式会社
株式会社アルブツール
イスタン技術株式会社
株式会社イスレーザージャパン
株式会社出石
株式会社エイチエフ
株式会社イワタール
インターナショナルダイヤモン株式会社
株式会社インテグ技術研究所
ヴェロノフウェア株式会社
株式会社ウチワ
株式会社エイト
株式会社エーピーエム
APEX株式会社
株式会社Alソリューションズ
株式会社SPIエンジニアリング
株式会社エムトピア
オクマ株式会社
オートデスク株式会社
オープンマインドテクノロジーズジャパン株式会社
株式会社岡本工作機械製作所
荏原物産株式会社
- カ** カールツァイス株式会社
一般社団法人型技術協会
株式会社アルモ
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社岩崎機工
コダマコーポレーション株式会社
日本金型産業株式会社
日本コーティングセンター株式会社
株式会社ハイト
パリステック工業株式会社
株式会社モールド技研
有限会社山金型製作所
株式会社金型新聞社
KALLER
河新株式会社
株式会社キーエンス
キャムタス株式会社
植床研工業株式会社
豊成機械株式会社
株式会社クリエティブテクノロジー
グループージャパン株式会社
堀田精工株式会社
KFカーバイドジャパン株式会社
株式会社ゲートジャパン
株式会社ゴージュ
コダマコーポレーション株式会社
コンドテック株式会社
株式会社サイバーFC
株式会社サウズ超硬精密
三和精工株式会社
株式会社C&Gシステムズ
株式会社CNK
GFマシニングソリューションズ株式会社
株式会社ジーベックテクノロジ
システムズグループウェア
Jクリエイト株式会社
株式会社J-3D
株式会社ジェービーエム
GENIO Solutions株式会社
シャープ精工
シンクジャパン株式会社
株式会社シムロック
シンクビジョン株式会社
株式会社新三協工具
新日本空調
菅原精機株式会社
株式会社SCREENホールディングス
西部電機株式会社
株式会社セイロジャパン
セコツールズジャパン株式会社
双和化成株式会社
ソマックス株式会社
ダイジェット工業株式会社
大昭和精機株式会社
大同特殊鋼株式会社
大同DMVソリューションズ株式会社
太陽物産/HOMI TAIWAN
大連金型工業団地弁公室
株式会社ダイワコー
匠ソリューションズ株式会社
伊達機械株式会社
立井ホール工業株式会社
株式会社IBUKI
HRSジャパン株式会社
FCS System
日本ユニシスエクスソリューションズ株式会社
株式会社タンガロイ
株式会社OHAMION CORPORATION
中口クラフ株式会社
DMG森精機株式会社
株式会社データデザイン
株式会社テクノア
テクノコード株式会社
東海プレス工業株式会社
東芝機械株式会社
東成エレクトロニクス株式会社
東洋研精工業株式会社
株式会社トーカロイ

- ナ** 東海合金工業株式会社
株式会社トップシッピングシステムズ
ビーテックロジック株式会社
株式会社エフエック
中国日本工業株式会社
名古屋商工会議所
浪速鉄工株式会社
株式会社ナノソフト
株式会社日刊工業新聞社
株式会社日研工作所
日本工業株式会社
日進工業株式会社
日東工業株式会社
日本アイティエフ株式会社
日本エリコン/リザーブ株式会社
日本金型産業株式会社
日本工業出版株式会社
一般社団法人日本鋳造協会
アイシンメタルテック株式会社
近江精工株式会社
株式会社コーシュ
知多工業株式会社
株式会社東亜精工
東亜精工株式会社
浪速鉄工株式会社
株式会社豊和
豊和精工株式会社
北陸工業株式会社
マック株式会社
万葉工業株式会社
株式会社ニヤマ
日本フジック株式会社
株式会社ネクストサイエンス
ノガシヤン株式会社
株式会社ノリタケカンパニーリミテド
ハイマージャパン株式会社
株式会社樫本アパレル工業
牧岡合金工具株式会社
ファロージャパン株式会社
FOOKE Japan 株式会社
株式会社プライオリティ
株式会社アスロコーポレーション
ブルームアップ株式会社
ポツツジャパン株式会社
マアック株式会社
マーボス株式会社
株式会社牧野フライス製作所
マコー株式会社
株式会社マシニング
株式会社松井製作所
マテリオラフレーションジャパン株式会社
丸紅情報システムズ株式会社
まんでんプロジェクト
有限会社オービタルエンジニアリング
川本重工業株式会社
株式会社神戸機械工業
株式会社国分機工
新日産ダイヤモン工業株式会社
鈴幸商事株式会社
大同工業株式会社
電子科学工業株式会社
株式会社東栄超硬
株式会社トド製作所
株式会社中野製作所
有限会社野島製作所
シンロ化学工業株式会社
有限会社三井印刷
三井精機工業株式会社
株式会社ミツコ
三菱重工工作機械株式会社
三菱商事テクノス株式会社
三菱電機株式会社
三菱日立ツール株式会社
ミナター株式会社
村田機械株式会社
株式会社トドール
安田工業株式会社
山下電気株式会社
株式会社ヤマダワークス / 日本スピードショア株式会社
友光測範株式会社
株式会社ユーロテクノ
コクエ工業株式会社
ユニテックジャパン株式会社
ヨシカワメイト株式会社
株式会社菱光社
株式会社ルビッドファインディングジャパン
ルンキーメタルジャパン株式会社
有限会社鈴峰
レニオン株式会社
アソナルビルダー株式会社
株式会社ロゼッタ
- ハ** 池上金型工業株式会社
株式会社イクセス工業
株式会社伊藤製作所
株式会社エフエック
株式会社伊吹機工
株式会社打田製作所
株式会社内山精工
株式会社エイエム・シイ
株式会社エムアイモルテ
連邦工業株式会社
大垣精工株式会社
大久保金型工業株式会社
大森コーム工業株式会社
株式会社岡崎製作所
株式会社カフマタテクノス
株式会社キメフ
株式会社キヤムテム
キヤノンモールド株式会社
株式会社協和精機製作所
クリエティブテクノロジーズ株式会社
株式会社クリエイトダイズ
黒田精工株式会社
株式会社ケイテラスモールドジャパン
株式会社小出製作所
株式会社コガネイモールド(旧徳山金型工業㈱)
小林工業株式会社
株式会社駒井工作所
株式会社サイベックコーポレーション
株式会社作石製作所
株式会社狭山金型製作所
株式会社ニッセイアイソツール
JFE精密株式会社
株式会社シグマ
七宝金型工業株式会社
聖徳ゼロテック株式会社
株式会社湘南サンライズ工業
株式会社ニッセイアイソツール
株式会社セントラルファインツール
株式会社タカノ
株式会社高橋精機工業
タニキ株式会社
株式会社テクノクラーツ
富山県金型同組合
株式会社長良製作所
中江工業株式会社
株式会社ナガラ
株式会社名古屋精密金型
日型工業株式会社
日進精機株式会社
野田工業株式会社
橋本精工株式会社
株式会社橋本工業
日精精機株式会社
福井精機工業株式会社
株式会社藤岡エンジニアリング
株式会社アスタ
株式会社アスタ
株式会社ベッカー精工
ベントム工業株式会社
株式会社松永特殊溶接
株式会社松野金型製作所
株式会社三井精機
株式会社三井ハイテック
株式会社三不二超硬
株式会社三幸
ムツミ工業株式会社
株式会社ムトウ
株式会社明和製作所
山崎工業株式会社
株式会社ヤマナカコーキン
有限会社吉中精工
株式会社リリ(インシカフ
株式会社ワークス
吾園精機株式会社
株式会社福光工業
ベスト
ミネラウ金型株式会社
MOLE'S ACT
株式会社山本金属製作所
株式会社ユーロテクノ
株式会社林インダナショナル

- マ** 池上金型工業株式会社
株式会社イクセス工業
株式会社伊藤製作所
株式会社エフエック
株式会社伊吹機工
株式会社打田製作所
株式会社内山精工
株式会社エイエム・シイ
株式会社エムアイモルテ
連邦工業株式会社
大垣精工株式会社
大久保金型工業株式会社
大森コーム工業株式会社
株式会社岡崎製作所
株式会社カフマタテクノス
株式会社キメフ
株式会社キヤムテム
キヤノンモールド株式会社
株式会社協和精機製作所
クリエティブテクノロジーズ株式会社
株式会社クリエイトダイズ
黒田精工株式会社
株式会社ケイテラスモールドジャパン
株式会社小出製作所
株式会社コガネイモールド(旧徳山金型工業㈱)
小林工業株式会社
株式会社駒井工作所
株式会社サイベックコーポレーション
株式会社作石製作所
株式会社狭山金型製作所
株式会社ニッセイアイソツール
JFE精密株式会社
株式会社シグマ
七宝金型工業株式会社
聖徳ゼロテック株式会社
株式会社湘南サンライズ工業
株式会社ニッセイアイソツール
株式会社セントラルファインツール
株式会社タカノ
株式会社高橋精機工業
タニキ株式会社
株式会社テクノクラーツ
富山県金型同組合
株式会社長良製作所
中江工業株式会社
株式会社ナガラ
株式会社名古屋精密金型
日型工業株式会社
日進精機株式会社
野田工業株式会社
橋本精工株式会社
株式会社橋本工業
日精精機株式会社
福井精機工業株式会社
株式会社藤岡エンジニアリング
株式会社アスタ
株式会社アスタ
株式会社ベッカー精工
ベントム工業株式会社
株式会社松永特殊溶接
株式会社松野金型製作所
株式会社三井精機
株式会社三井ハイテック
株式会社三不二超硬
株式会社三幸
ムツミ工業株式会社
株式会社ムトウ
株式会社明和製作所
山崎工業株式会社
株式会社ヤマナカコーキン
有限会社吉中精工
株式会社リリ(インシカフ
株式会社ワークス
吾園精機株式会社
株式会社福光工業
ベスト
ミネラウ金型株式会社
MOLE'S ACT
株式会社山本金属製作所
株式会社ユーロテクノ
株式会社林インダナショナル
- ハ** 久野金属工業株式会社
株式会社阪口製作所
サトープレス工業株式会社
株式会社サトウエーサー
株式会社シミスプレス
正栄工業株式会社
株式会社関プレス
株式会社先端力学シミュレーション研究所
株式会社そつてふ
株式会社大音金属製作所
タイムック株式会社
太陽工業株式会社
株式会社タイヨーアクリス
株式会社タケダ
有限会社豊岡製作所
株式会社西村技研
橋本精工工業株式会社
株式会社ハヤシ
株式会社日立システムズ
ヒルタ工業株式会社
プレテック株式会社
株式会社アロキオン
株式会社平安製作所
株式会社ホリコ
本田工業株式会社
株式会社三雲製作所
株式会社三井三池製作所 精密機器事業本部
ミヤマ精工株式会社
柳下技研株式会社
株式会社平安製作所
株式会社ホリコ
有限会社雪山山シボリ
株式会社樋口製作所
富士金属株式会社
株式会社三雲製作所
株式会社山田産業
橋山興業株式会社
株式会社理研計器奈良製作所
- 海** AMB - International exhibition for metalworking
asiamold
東洋工業株式会社
CHIANG CHANG MACHINE CO.,LTD.
中国鋳工協会
大連金型工業団地弁公室
東莞市啓泰精密鑄造五金製品有限公司
DongGuan JiuDong Industrial Co.,Ltd
Dongguan Jucheng Mould CO.,LTD
東莞市双順精密鑄造有限公司
Dongguan Wellan Precision Automatic
Equipment Co., Ltd
DONGGUAN WELLMEL MOLD MFG. CO., LTD
Dongguan Winstech Precision Industrial Metal Co., Ltd
東莞市永興精密鑄造有限公司
エラストイール
formnext/Mesago Messe Frankfurt GmbH
ACAM Aachen Center for Additive
Manufacturing GmbH
TRUMPF Corporation
VDMA ~Additive Manufacturing An
Association within VDMA~
香港模具有限公司
Jin Hwo Yeng Enterprise Co., Ltd
Korea Die & Mold Industry Cooperative
A-Tech Solution Co.,Ltd.
BESTEC CO.,LTD.
Daedong Techline Co., Ltd.
JAEYOUNG SOLUTEC Co., Ltd.
Jukwang Precision Co., Ltd.
Keonwoo Precision Co., Ltd.
KOREA ASSOCIATION FOR DIE&MOLD
INDUSTRY DEVELOPMENT
KOREA PRECISION CO.,Ltd
MDT Co., Ltd.
MICRON Tech
Sangick Engineering
Sang-oh Precision
SEYOON TOPMETAL Co., Ltd.
Sinheung Precision Co., Ltd.
Won Jin Industry Co.
LEKIN MOULD (HK) CO., LTD
Minwek Precision Mold(Kunshan)Co.,Ltd
NAFA Mold & Die Co.,Ltd
新富金工業有限公司
Ningbo Vigour Electrical Co.,Ltd
NIAO TRADING CO., LTD.
O.M.LER SRL
POWERTEC CO., LTD.
Qingdao Beltong Industrial Co.,Ltd
RENATA PRECISION COMPONENTS PVT LTD.
SANKICODRE CO., Ltd
Sangchon Intl Co., Ltd
Shanghai Golden-Maker Mold & Plastic
Technology Co., Ltd
姜士徳福科技
SHENZHEN SANPIN MOULD CO.,LTD
SHENZHEN SUNHONG ANGHONG TECHNOLOGY
COMPANY LIMITED
Suzhou Mingshuo Precision Machinery Co., Ltd
TREND PLASTIC MOULD CO.,LTD
深圳天麟精密模具有限公司 / TSPプレジション株式会社
UPS MOULD CO., LIMITED
YaXing Mould Technology Company Limited
株式会社富光テック

基調講演・特別講演・各種セミナーの開催 前回(2018年6月)の開催内容

- 基調講演**
『環境変化を勝ち抜くモノづくりのこれから』
株式会社ジェイテック 工作機械・メカトコ事業本部 執行役員 岡安 高雄 氏
- 一般社団法人日本金属プレス工業協会 特別講演会**
『品質保証体制強化におけるIoT活用』
株式会社アムイ 代表取締役 山田 浩貴 氏
- 特別セミナー**
『超ハイテン材のプレス成形における課題と対策』
JFEスチール株式会社 スチール研究所
薄板加工技術研究部 主任研究員(部長) 飯塚 栄治 氏
- 『超ハイテン材適用部品の成形技術開発』
株式会社エイチワン 機種開発部 研究開発ブロック 技幹 豊田 大介 氏
- 試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア 特別講演**
特別協力:オートデスク株式会社
『開発・製造プロセスに変革をもたらすAIおよび最新技術動向と活用事例』
オートデスク株式会社 デジタルマニュファクチャリンググループ
アジアパシフィック担当ディレクター 辻野 浩司 氏
- 自動車部品製造技術フェア 特別講演会**
特別協力:一般社団法人日本自動車部品工業会
『革新技術による自動車産業の変化』
一般社団法人日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
- 一般社団法人日本鋳造協会 特別セミナー**
『自動車産業における鋳造技術の現状と将来の方向性』
トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 工程改善部
業務革新室長 森下 弘一 氏

- 航空機部品製造技術フェア 特別セミナー**
主催:まんでんプロジェクト
『民間航空機産業の現状と今後の展開』
川崎重工株式会社 社友 榊 達朗 氏
- 精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア 特別セミナー**
『バリ取り・研磨 実践討論会 in 名古屋』
アラキエンジニアリング 代表 荒木 弥 氏
株式会社シーケーピー OTECプロジェクト室 室長 穴戸 一好 氏
株式会社ジーベックテクノロジ 営業部 技術担当マネージャー 豊里 太祐 氏
株式会社スギノマン 精密機器事業本部 生産統括部 応用開発部 課長 光江 豊彰 氏
株式会社不二製作所 開発部 主任 内海 裕介 氏
メイホー株式会社 生産技術室 室長 中西 元久 氏
- 『マシンングセンターでのバリ取り・研磨の自動化』**
バリ取り大学 理事長
株式会社ジーベックテクノロジ
代表取締役社長 住吉 慶彦 氏

開催概要 / 出展料金 / 申込方法

開催概要

| | |
|--------|---|
| 名称 | 金属プレス加工技術展 名古屋 |
| 会期 | 2019年6月19日(水)~22日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで |
| 会場 | ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2) |
| 主催 | 一般社団法人日本金属プレス工業協会 |
| 運営 | インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内) |
| 公式サイト | http://intermold.jp |
| 同時開催 | INTERMOLD 名古屋/ 金型展 名古屋(主催: 一般社団法人日本金型工業会) |
| 予想来場者数 | 50,000人(同時開催展を含む) |
| 入場料 | 1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料) |
| 後援 | 経済産業省、外務省、愛知県、名古屋市、独立行政法人日本貿易振興機構、名古屋商工会議所、日本経済新聞社名古屋支社(順不同/申請予定) |
| 協賛 | 一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛冶機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鋳造協会(順不同/申請予定) |

出展規程

出展料金

| 種別 | Aタイプ | Bタイプ |
|----|---------------------|---------------------|
| 一般 | 350,000円 (出展料金)+消費税 | 420,000円 (出展料金)+消費税 |
| 会員 | 330,000円 (出展料金)+消費税 | 400,000円 (出展料金)+消費税 |

※会員価格は一般社団法人日本金型工業会正会員のみ適用

角小間指定料 50,000円+消費税(1・2小間の申込者のみ対象)

出展料金の割引 ※2つの割引制度を併用することは出来ません。

| | |
|----------------|--|
| 早期割引 | 30,000円/小間 2018年11月30日(金)までに申込手続きを完了した場合。 |
| 東京出展者割引 | 30,000円/小間 INTERMOLD2019 / 金型展2019 / 金属プレス加工技術展2019(東京)に出展申込をしている場合。 |

※ただし、東京出展小間数と異なる出展申し込みとなる場合は、割引対象は東京出展小間数を上限とし、名古屋出展小間の1小間あたりの割引は30,000円を上限とします。
 [1]東京出展小間数より名古屋出展小間数が多い場合 東京出展小間数×30,000円=割引金額
 [2]東京出展小間数より名古屋出展小間数が少ない場合 名古屋出展小間数×30,000円=割引金額
 ※2つの割引を併用することは出来ません。

小間仕様

サイズ/間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)
 単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限り)

小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、バラベットのカーベット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。<参考>前開催時電気使用料:1kwあたり2,000円(税別)>
 ※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。
 ※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。
<https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。
 出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。
 インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

(重要) 重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックして下さい。
 また、展示会場での「危険物品の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)を含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。
 出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認し、ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。
 詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込み後にご案内する「出展者専用ページ(Web)」にて共同出展者名をご登録ください。

申込締切日 **2019年1月31日(木)** ※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みいただきます。

出展対象

| | | | | |
|--|--|--|--|---|
| <p>■工作機械 マシニングセンター、ターニングセンター、ドリリングセンター、各種研削盤、各種立削り盤、各種フライス盤、各種放電加工機、各種仕上機、各種複合加工機、各種旋盤、各種ボール盤、各種くり盤、モジュラユニット・専用機、自動組立機、特殊加工機械(レーザー加工機・電解加工機など)、金型自動磨き装置、その他</p> <p>■工作機器 工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機械(位置決めテーブル、切削処理装置、給油潤滑装置)、その他</p> | <p>■特殊鋼工具、超硬工具・ダイヤモンド工具 工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド及びCBN工具、サーメット工具、セラミック工具、その他機械工具</p> <p>■研削砥石・研磨材</p> <p>■精密測定器・光学測定機・試験器 ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測定機器、形状・あざ測定機器、自動精密測定機器、投影機、金属顕微鏡、試験機器、その他</p> <p>■プレス機械 サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、</p> | <p>ペンディングマシン、剪断機、鍛造機・装置、線材加工機、各種塑性加工機、その他</p> <p>■プラスチック加工機械 各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空成型機、圧縮成形機、熱成形機、発泡成形機、押出機、押出成形装置、遠心成形装置、その他</p> <p>■プラスチック加工機械周辺機器 および原材料・副資材など 成形機械部品・付属装置、試験機・測定機、計器・コントローラ、二次加工機器、ロボット(取出機・インサート装置など)、原材料・副資材、成形サンプル(製品・半製品)、その他</p> | <p>■機械系・金型用CAD/CAM/CAEシステム</p> <p>■造形システム (ラピッドプロトタイプングシステム)</p> <p>■試作・モデリング関連</p> <p>■FA関連機器・装置、NC装置、自動プログラミング装置</p> <p>■生産管理システム</p> <p>■金型材、金型部品</p> <p>■金型表面処理</p> <p>■金型メンテナンス関連</p> | <p>■金型周辺機器 金型温度調節機、金型自動交換装置、金型内ガス抜き装置、金型反転機、金型冷却装置、ホットランナ装置、モールドベース、金型監視装置</p> <p>■各種金型 プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、ガラス用、窯業用など</p> <p>■成形サンプル</p> <p>■試作金型</p> <p>■各種研究機関・工業会・組合など</p> <p>■図書・文献・資料</p> |
|--|--|--|--|---|

テクニカルワークショップ／オープンセミナー開催のご案内／出展者への提供サービス

プレゼンテーションセミナー(有料)

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただけます。

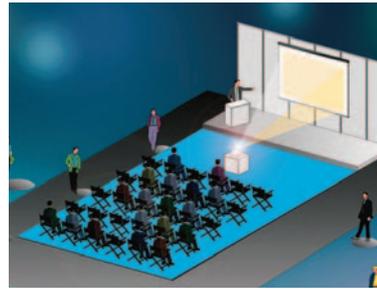


テクニカルワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

| | |
|-----|-------------------------|
| 会場 | ポートメッセなごや 会議室または会場内特設会場 |
| 定員 | 50~100名程度 ※スクール形式 |
| 開講料 | 1時間 / 60,000円(税別) |

※プログラムは、事務局にて調整します。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

| | |
|-----|--------------------------|
| 会場 | ポートメッセなごや 展示場内特設会場 |
| 定員 | 約30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です) |
| 開講料 | 45分 / 50,000円(税別) |

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)
※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカルワークショップ(前回開講実績)

ダイジェット工業株式会社

『モジュラーシリーズを利用した高効率加工のご紹介』
技術部 技術室 切削工具開発課 田原 裕規 氏
エヌティーツール株式会社
『金型加工に適したツーリング』
技術部 部長 齊藤 信 氏
セコ・ツールズ・ジャパン株式会社
『機械加工の効率化を推進できる推奨工具と多機能加工性能を活用した加工提案』
加工技術部 マネージャー 岩瀬 勲 氏 / 大井 弘昭 氏

株式会社C&Gシステムズ

[1]『工程管理システム(AIQ Ver11.1)新バージョンのご紹介』
CAD開発部 工程管理開発課 課長 田代 勝法 氏
[2]『CAM-TOOLによる5軸加工の優位性』
商品企画統括部 営業技術課 井上 真由美 氏
ブルーム・ノボテスト株式会社
『加工&計測の複合化と機上自由曲面計測』
技術・サービス部 マネージャー 高坂 斉 氏
日本エリコンバルザース株式会社
『金型向け最新表面処理ソリューション』
ツール事業部 アシスタントプロダクトマネージャー
メタルフォーミング担当 内田 智也 氏

株式会社ミットヨ

『生産性の向上に寄与する計測システム』
営業本部 中部営業部 技術営業課 主査 猪原 英治 氏
株式会社牧野フライス製作所
『中大物金型に対応するカスタマーサポートテクノロジー』
アイダエンジニアリング株式会社
『アルミ材の適用拡大で変わる、自動車部品のプレス加工ライン』
取締役常務執行役員 鈴木 利彦 氏

オープンセミナー(前回開講実績)

三菱日立ツール株式会社

『金型加工の更なる高精度・高効率化を実現する最新切削工具』
グローバルソリューションセンター 東部ステーション
東部ステーション長 井上 洋明 氏
株式会社ナノソフト
『3DQuickPressと3DSimSTAMPで変えるプレス金型設計』
大町 勝一郎 氏
三菱重工工作機械株式会社
『ユニバーサル主軸と撮像式工具測定による大型金型の高精度加工』
技術本部 技術開発推進室 主任 中村 真吾 氏
株式会社データ・デザイン
『3Dアディティブの次なるステージへ』
セールスユニット 企画G マネージャー 今田 智秀 氏
株式会社ユーロテクノ
[1]『アリコナ社製非接触三次元測定機を用いた革新的な工具測定』
営業チーム 藤田 篤 氏
[2]『金型におけるガイド部品の重要性和部品選択のポイント』
営業チーム 渡辺 雅紀 氏
シンクビジョン株式会社
『「現場の実情」に合った工程管理』
ソリューション事業部 マネージャー 地曳 淳 氏
HRSジャパン株式会社
『FLEXflow Family, 電動サーボバルブゲートシステム』
技術室 テクニカルサポートエンジニア デローサ アントニオ 氏

株式会社IHI Ionbond Japan

『IHI Ionbondの金型向けPVDコーティング』
代表取締役 綾目 吉彦 氏
柳下技研株式会社
『ELID研削法の平面研削盤への適用について』
YGテクニカルセンター ELID研削技師 一瀬 哲也 氏
日工機材株式会社
[1]『〜ジェイコア〜加工段差ゼロの実現』
営業部 係長 平 信行 氏
[2]『「イトロニクス」世界初フルデジタル形彫放電加工機のご提案。』
株式会社 アイトロニクス 藤本 尚也 氏
株式会社SCREENホールディングス
『目視検査を自動化する「車載用金属部品向け外観検査装置IM-3200・IM-5100」のご紹介』
検査・計測事業部 営業・マーケティング課 セミナー担当者
株式会社J・3D
『ダイカスト金型への金属3Dプリンター応用』
代表取締役 高関 二三男 氏
コダマコーポレーション株式会社
[1]『最新CAD/CAM活用セミナー』
小金 佑介 氏
[2]『TOPProgressによるプレス金型設計・製作の効率化事例』
小金 佑介 氏
[3]『世界最速金型CAD TopSolid Moldによるプラスチック金型設計』
小金 佑介 氏

JFE精密株式会社

『JFE精密のPVDコーティング』
技術部 部長 桜井 雅彦 氏
株式会社テクノクラーツ
『次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”』
代表取締役 反本 正典 氏
ハルステック工業株式会社
『残留力測定装置の原理と測定事例』
営業部営業2課 主任 増井 貴 氏
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
『AdvantEdgeによる金型加工用NCプログラムの解析および最適化』
科学システム本部 江渡 寿郎 氏
株式会社セイロジャパン
『3次元樹脂流動解析による最新の成形技術への適用』
MoldexソリューションセンターMoldex課 課長 田中 久博 氏
シーメンスPLMソフトウェア
『積層技術を生かした新しいものづくり - アディティブ・マニファクチャリング』
ポッドフォリオ開発本部 Digital Enterprise Realization コンサルタント 倉田 陽司 氏

出展者への提供サービス(前回実績)

事務局では出展効果を高める為に、各種サービスを強化しています。

① 出展企業の紹介を開催前から当日までバックアップ

- 公式ガイドブックへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 公式サイトへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 展示会案内リーフレットへの社名や小間位置掲載

② 来場動員ツールを作製し希望数を無償提供

- 展示会案内リーフレット(招待券機能付き)の無償提供
- 招待券ハガキの無償提供
※但し、事前申し込み以降の追加希望は在庫限りの対応となります。

③ 重要顧客へのサービス提供

- VIP来場者登録
- VIPラウンジの使用

④ 一般紙・業界紙誌やSNSなどを通じた情報発信

- プレスリリースでの情報発信
- 一般紙への開催告知広告(中日新聞)
- 関連業界紙誌での広告企画
- メール配信での情報発信
- SNSでの出展内容紹介
- 海外アライアンス展示会での情報発信

⑤ 展示会場内に設置するセミナー会場でのプレゼンテーション

- テクニカルワークショップ開講(有料)
- オープンセミナー開講(有料)

⑥ 出展者スタッフへのドリンクサービス

- 開催期間中、出展企業スタッフへ毎朝ドリンクを提供

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出席料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出席料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出席料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立日期について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2) やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

| 書面による取消・変更通知を受領した日 | 出展取消料 |
|-----------------------|-----------|
| 出展申込日～2019年1月31日 | 出席料金の10% |
| 2019年2月1日～2019年2月14日 | 出席料金の50% |
| 2019年2月15日～2019年2月28日 | 出席料金の75% |
| 2019年3月1日以降 | 出席料金の100% |

- (3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出席料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - ① 2019年2月28日(木)までに出席料金を完納しない場合
 - ② 事前申告なしに搬入日の2019年6月18日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - ③ 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出席料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- (1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期限内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2) 展示ブース内の実演において、本展示会に出展していない企業の機械・製品を使用することは禁止いたします。
- (3) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- (4) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出席料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

- (1) 主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出席料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。
- (2) 出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

お問い合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロイン

TEL : 06-6944-9911 FAX : 06-6944-9912

E-mail : infoim2019@tvcoe.co.jp